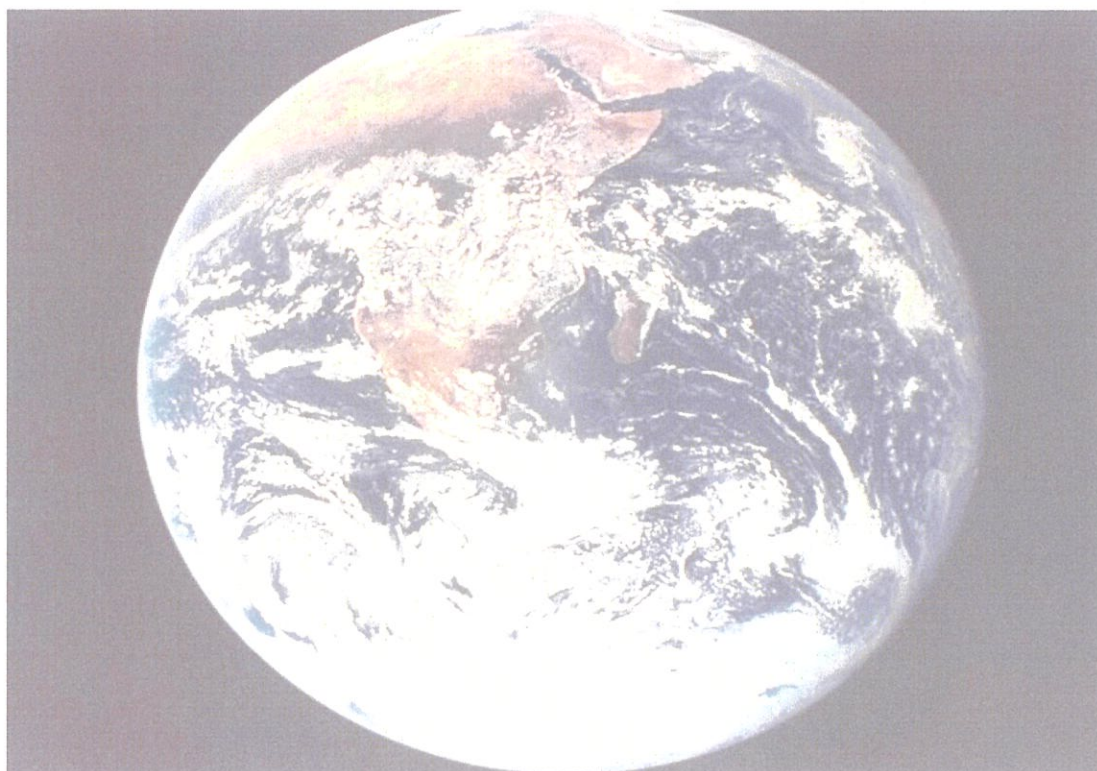


2022年 環境経営レポート

〈活動期間：2022年度：2022年4月1日～2023年3月31日〉



MOLYMER MEDICAL

発行日：2023年 7月31日

改訂日：2024年 9月30日

<目次>

会社概要(活動期間)	3
モリマーメディカル(株)環境経営方針	4
環境経営システム組織図	5
<環境負荷状況(全社主要実績合計)>	6
<環境負荷状況(実績)>(本社・小野工場)	7
<環境負荷状況(実績)>(加西工場)	7
<環境経営目標>(小野工場)	8
<環境経営目標>(加西工場)	8
<環境経営目標>(大阪事務所)	8
<2022年度の具体的環境経営計画>	9
<2022年度の環境経営目標と実績及び取組内容>	10-11
<法令遵守及び外部コミュニケーション>	12
<連絡窓口>	13
<連絡先>	14

会社概要（活動期間）

- 社名 現モリマーメディカル株式会社（旧パワーサプライ株式会社）
- 設立 平成元年12月
- 資本金 2,900万円
- 代表者 代表取締役社長 福本 幸造
- 環境管理責任者 柳川瀬 初代
- 従業員数 本社・小野工場 74名
加西工場 32名
大阪事務所 5名
- 工場延床面積 大阪事務所 22.5㎡
本社・小野工場 5,370㎡
加西工場 8,173㎡
- 生産量 923トン（2022年度製品出荷量）
- 売上高 1,847百万円（2022年度）
- CO₂排出量 2,543 t-CO₂（2022年度）
- 対象範囲
事業所 本社・小野工場／兵庫県小野市匠台23番地
TEL 0794-62-0551（代）
FAX 0794-63-3172
加西工場／兵庫県加西市朝妻町1044番地
TEL 0790-47-9001（代）
FAX 0790-47-9007
大阪事務所／大阪市中央区本町2-3-8 三甲大阪本町ビル7階
TEL 06-6261-6300（代）
FAX 06-6261-6305
- 活動範囲 プラスチック製品の開発及び製造
営業品目 精密エンジニアリングプラスチック成形
医療機器用プラスチック成形
その他プラスチック成形
射出成形用精密金型の設計・製造
- その他 ISO 9001:2015 認証機関名 JSA-SOL
対象組織：管理部門、製造部門：本社・小野工場
製造部門：加西工場 製造部
活動範囲：プラスチック射出成形品の製造
- 事業年度 4月～3月

モリマーマディカル㈱ 環境経営方針書



基本理念

当社は環境保全が永続できる環境経営システムを構築する事によって、その重要性を認識し地球環境保全に寄与できる生産体制の確立及び運用を積極的に取り組み、経営における課題とチャンス定期的に明確にし、事業活動に取り組みます。

また従業員一人一人が地球環境保全の責務を負っている事を認識し、その責務を果たすシステムを構築する事によって、健全な地球環境の保持に努めます。



行動指針

- 【1】 環境関連法規制を順守する。
- 【2】 環境保全活動に数値目標を立て、実現する為に継続的改善活動を行う。
- 【3】 環境保全教育を実施し全従業員が保全活動に取り組む。
- 【4】 廃棄物の削減に取り組む。
- 【5】 排出 CO2 の管理を行い、その低減活動に取り組む。
- 【6】 購入品についてはグリーン調達に取り組む。
- 【7】 水資源利用の削減に取り組む。
- 【8】 廃プラスチックのリサイクル推進。



この方針書は社内外を問わず公表します。

制定:2021年4月1日

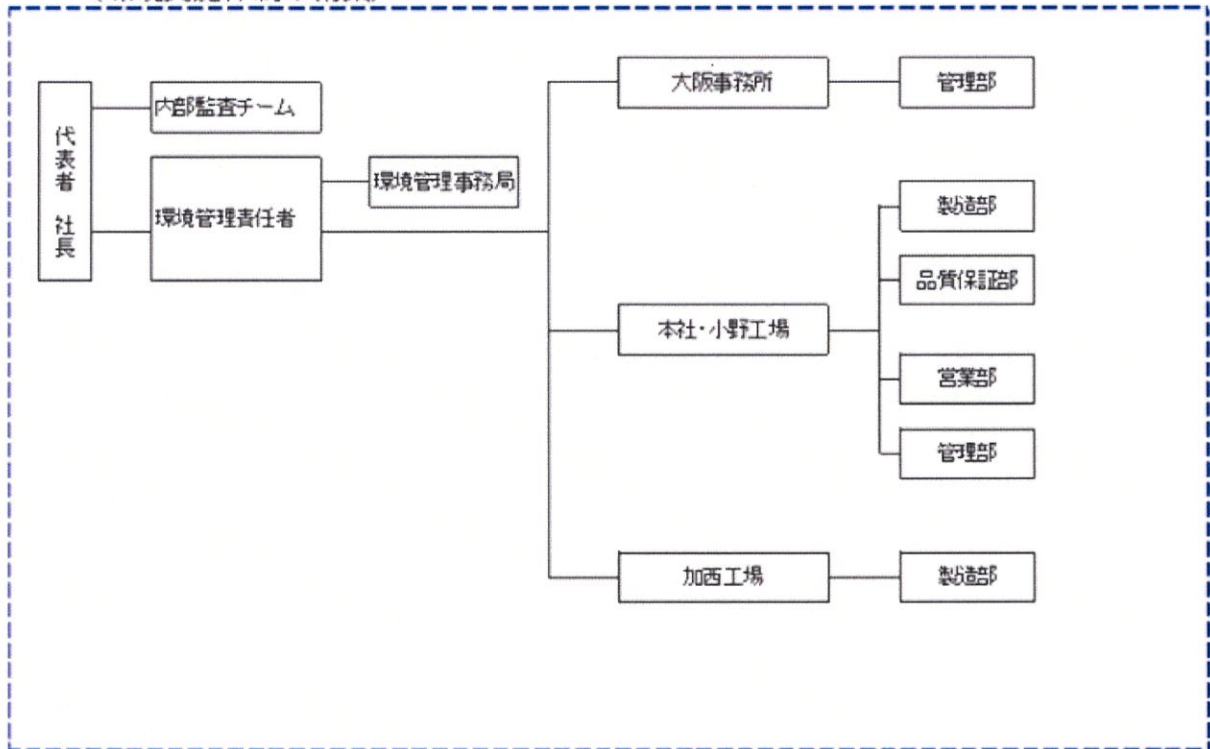
改定:2024年5月1日

代表取締役社長

福本 幸造

環境経営システム組織図 2022年度(公開版)

(環境実施体制の構築)



※2022年度当時、旧パワーサプライ㈱環境経営システム組織図

役割、権限及び責任:

①社長

EA21に関する全ての権限及び責任を有する。
 環境管理責任者を任命する。
 内部監査員を任命する。
 環境経営方針の設定及び見直しを行い全従業員に周知させる。
 代表者による全体の評価と見直しを行う。
 課題とチャンスの明確化。
 EA21用経営資源の用意する。
 環境経営レポートの承認

②環境管理責任者

EA21を構築し実施及び管理を行う。
 法規制登録簿を作成する。
 環境経営目標及び環境経営計画を作成する。
 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
 環境経営レポートの承認

③内部監査員

EA21の内部監査を行う。

④環境事務局

環境管理責任者の事務局。
 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック
 原案の作成。
 法規制登録簿の原案作成及び法規制制定・改訂等最新化及び
 法規制遵守チェック。
 緊急事態対応訓練実施管理。
 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
 環境経営レポートの作成

⑤各部門環境担当

自部門におけるEA21の推進。
 環境に関する手順書の作成。
 環境経営目標及び環境経営計画の実施及び状況報告。
 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。

⑥各部門部門長

自部門の問題点の発見及び是正、予防措置。
 自部門の環境担当者の業務フォロー。

<環境負荷状況（全社主要実績合計）>

環境負荷項目		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	2,846	2,678	3,289	2,543	
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	12.15	15.37	23.13	18.04
	産業廃棄物	再生利用	t	85.04	59.05	43.34	43.55
		熱回収	t	6.18	5.31	7.31	7.66
		最終処分量	t	65.52	60.83	60.55	36.14
③ 水使用量	上水	m ³	5,496	7,630	8,671	6,079	
④ エネルギー使用量	電力使用量	万kWh	635.7	641.7	718.3	639.2	
	化石燃料	千MJ	2,777	2,729	2,143	215	

<環境負荷状況（実績）>（本社・小野工場）

環境負荷項目		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	1,625	1,621	1,809	1344	
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	3.90	4.40	4.95	5.30
	産業廃棄物	再生利用	t	46.05	27.13	8.71	13.29
		熱回収	t	6.18	5.31	7.31	7.66
		最終処分量	t	37.83	27.52	12.94	3.89
③ 水使用量	上水	m ³	4,191	5,790	6,560	3943	
④ エネルギー使用量	電力使用量	万kWh	382.8	387.2	410.5	335.8	
	化石燃料	千MJ	47	41	36	16	
	ガソリン	(L)	(693)	(754)	(542)	(186)	
	軽油	(L)	(596)	(403)	(443)	(239)	
⑤ 物質使用量 (プラスチック原料)	資源投入量	t	999	919	1,225	947	
⑥ 総製品生産量	製品生産量	t	969	888	1,194	923	
	容器包装	t	154.6	198.8	344.1	181.9	

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）

—R1年度実績— R3. 1.7環境省・経済産業省公表、R3. 7. 19一部追加・更新 を引用

電気事業者名：エバーグリーン・マーケティング（株）

購入電力0.440 (kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32kg-CO₂/L、軽油2.58 kg-CO₂/L

注2) サイト内で循環的利用を行っている物質等は無い。

注3) ⑤物質使用量⑥総製品生産量については、加西工場分を含む。

注4) 化学物質は金型の一部のメンテナンスで極少量をPRTR法に基づき適正管理のもと使用。

注5) 主な電力使用は、成形機とその周辺設備、コンプレッサー等。

<環境負荷状況(実績)> (加西工場)

環境負荷項目		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素	t-CO ₂	1,221	1,057	1,480	1,199	
② 廃棄物 総排出量	一般廃棄物	再生利用	t	8.25	10.97	18.18	12.74
		再生利用	t	38.99	31.92	34.63	30.26
	産業廃棄物	熱回収	t	0	0	0	0
		最終処分量	t	27.69	33.31	47.61	32.25
③-1 総排水量	下水	m ³	1,305	1,840	2,111	2,136	
③ 水使用量	上水	m ³	1,305	1,840	2,111	2,136	
④ エネルギー使用量	電力使用量	万kWh	252.9	254.5	307.8	303.4	
	化石燃料	千MJ	2,730	2,688	2,107	199	
		ガソリン	(L)	1,017	816	706	640
		LPG	(kg)	53,685	52,979	41,483	3,518

注1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)

—R1年度実績— R3.1.7環境省・経済産業省公表、R3.7.19一部追加・更新を引用

電気事業者名：エパーグリーン・マーケティング(株)

購入電力0.440(kg-CO₂/kWh)、ガソリン2.32kg-CO₂/L、LPG3.00kg-CO₂/kg

注2) 化学物質は金型の一部のメンテナンスで極少量をPRTR法に基づき適正管理のもと使用。

注3) 主な電力使用は、成形機とその周辺設備、コンプレッサー等。

<環境経営目標> (小野工場)

項目		単位	2022年度 (基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂	1,344	1,337 (△0.5%)	1,331 (△1.0%)	1,324 (△1.5%)	1,317 (△2.0%)
	①電力使用量	万kWh	335.8	334.1 (△0.5%)	332.4 (△1.0%)	330.8 (△1.5%)	329.1 (△2.0%)
	②化石燃料使用量	千MJ	15.59	15.51 (△0.5%)	15.43 (△1.0%)	15.36 (△1.5%)	15.28 (△2.0%)
[2]	産業廃棄物 廃プラ以外	t	7.66	7.51 (△2.0%)	7.47 (△2.5%)	7.43 (△3.0%)	7.39 (△3.5%)
[3]	水使用量	m ³	3,943	3,923 (△0.5%)	3,904 (△1.0%)	3,884 (△1.5%)	3,864 (△2.0%)

※(△0.0%)は、削減率目標、(+0.0%)は、増加率目標

<環境経営目標> (加西工場)

項目		単位	2022年度 (基準年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
[1]	排出CO ₂ 量	t-CO ₂	1,199	1,193 (△0.5%)	1,187 (△1.0%)	1,181 (△1.5%)	1,175 (△2.0%)
	①電力使用量	万kWh	303.4	301.8 (△0.5%)	300.3 (△1.0%)	298.8 (△1.5%)	297.3 (△2.0%)
	②化石燃料使用量	千MJ	198.7	197.7 (△0.5%)	196.7 (△1.0%)	195.7 (△1.5%)	194.7 (△2.0%)
[2]	産業廃棄物 廃プラ	t	13.43	13.36 (△0.5%)	13.30 (△1.0%)	13.23 (△1.5%)	13.16 (△2.0%)
[3]	水使用量	m ³	2,136	2,125 (△0.5%)	2,115 (△1.0%)	2,104 (△1.5%)	2,093 (△2.0%)

<環境経営目標> (大阪事務所)

移転に伴い、集計が困難である為、目標及び実績表については、レポートから除外

<2022年度の具体的環境経営計画>

①排出CO₂量の削減

- ・電力使用量の削減及び化石燃料使用量の削減の活動として実施する。

②電力使用量の削減

- ・節電活動の呼びかけ
- ・消費電力の異常監視・・・デマンド警報の監視徹底
- ・射出成形機の断熱による節電
- ・定期的な空調フィルター清掃
- ・手順書の説明（電力）

③化石燃料使用量の削減

- ・エコドライブ（アイドリングストップ、経済速度運転等）の取り組み
- ・燃費の良い社用車から優先に利用するための管理資料作成

④産業廃棄物最終処分量（廃プラ）の削減

- ・廃プラ削減呼びかけ
- ・再利用と廃棄の分別を徹底
- ・製品飛散の削減
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・廃プラのリサイクル化

⑤産業廃棄物最終処分量（廃プラ以外）の削減

- ・廃棄物分別運動・・・廃棄担当者の特定
- ・紙類のリサイクル化
- ・事務用品グリーン調達運動
- ・手順書の説明（産業廃棄物など）
- ・コピー用紙節約運動・・・裏紙使用、両面印刷の徹底

⑥水使用量の削減

- ・節水の呼びかけ
- ・現場パトロールによる指導（1回/月）
- ・冬季凍結防止対策の指導と監視
- ・減水満水警報の異常監視
- ・水質処理装置の管理徹底
- ・手順書の説明（節水）

⑦購入品についてはグリーン調達に取り組む

- ・主に文具類の新規購入の際はエコ商品を優先
2019年度より実績記載削除

<2022年度の環境経営目標と実績及び取組内容>

項目 (単位)		目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
CO ₂ 排出量の削減 (t-CO ₂)	小野工場	目標 : 1,605	成形機の増設及び上期の稼働増があったが、下期に稼働調整を行った結果、目標達成となりました。次年度も出来る限り計画に無理の無い稼働調整を行い、CO ₂ 削減に努めます。
		実績 : 1,344	
		達成率 : 119.37%	
	加西工場	目標 : 1,046	主に設備増設、生産量増加に伴い、電気使用量の増加と「CO ₂ への換算係数」の変更により目標未達成となりました。2022年11月以降は「CO ₂ への換算係数」が小さい電力会社に供給元を変更した為、12月以降は目標値の達成が続いています。次年度は、更に設備の変動の監視等を行い、削減に努めます。
		実績 : 1,199	
		達成率 : 87.26%	
使用電力量の削減 (万kWh)	小野工場	目標 : 3,833	成形機の増設及び上期の稼働増があったが、下期に稼働調整を行った結果、目標達成となりました。次年度も出来る限り計画に無理の無い稼働調整を行い、使用電力量の削減に努めます。
		実績 : 3,358	
		達成率 : 114.13%	
	加西工場	目標 : 251.95	主に社内の設備増設、空調設備の仕様見直し (2022年8月以降; ガス→電力) に伴う電力使用量の増加により、目標未達成となりました。次年度も年間の設備等の変動を監視し、更なる削減に努めます。
		実績 : 303.36	
		達成率 : 83.05%	
化石燃料使用量の削減 (千MJ)	小野工場	目標 : 41.08	各工場で共有する製品の増産による工場間移動等で、軽油の使用量が増見られた時期がありましたが、工事対応に伴う工場間移動が減った事もあり、目標を達成しています。次年度も各工場に対応できるように計画し、工場間の移動に伴う運搬について注視し、削減に努めます。
		実績 : 15.59	
		達成率 : 263.52%	
	加西工場	目標 : 2,661	空調設備の仕様見直し (2022年8月以降; ガス→電力) により、下期に化石燃料使用量の大幅な減少が見られ、目標達成となりました。次年度以降は、化石燃料を使用する主な設備は、社用車です。ガソリン使用量の減少が達成できるように呼びかけを行います。
		実績 : 198.73	
		達成率 : 1338.96%	

項目 (単位)		目標及び実績	評価結果と次年度の取組内容
産業廃棄物 (廃プラ以外) の削減 (t)	小野工場	目標 : 8.98	増産による廃棄品や梱包資材の使用量が増えていましたが、分別出来る物は出来だけリサイクル出来る用にする事で目標達成しています。次年度も分別による廃棄物削減に努めます。
		実績 : 7.66	
		達成率 : 117.23%	
	加西工場	—	
		—	
		—	
産業廃棄物 (廃プラ) の削減 (t)	小野工場	—	一時的に廃棄物量の増加がありましたが、年間を通じては目標達成となりました。次年度は分別により廃棄の効率アップに取り組んでいきます。
		—	
		—	
	加西工場	目標 : 15.95	
		実績 : 13.43	
		達成率 : 118.76%	
水使用量の削減 (m3)	小野工場	目標 : 5,919.00	昨年にクーリングタワー循環ポンプから老朽化による水漏れが大量にありましたが、本年度は問題設備を更新し、水漏れが無く、正常に戻り、目標を達成しています。次年度は本年度に強化した点検を継続し、節水、啓発等により、削減に努めます。
		実績 : 3,943.00	
		達成率 : 150.11%	
	加西工場	目標 : 1,822	
		実績 : 2,136	
		達成率 : 85.30%	

※達成率の計算式 :

目標値 ÷ 実績値 × 100 = 達成率 とし、小数点第3位切り捨てとする

＜法令遵守及び外部コミュニケーション＞

法規制の遵守

遵守評価日：2023年7月31日

法規制等の名称	遵守すべき主な要求事項	遵守の状況
下水道法	特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	遵守
騒音規制法	空気圧縮機、送風機、液圧プレス、機械プレス等特定施設の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法		遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃油、金属屑等）、一般廃棄物の適正処理 マニフェスト発行・管理・保存、委託契約（書面）	遵守
フロン排出抑制法	フロン類の適正な処理（業務用空調機等） 簡易点検・記録・同保存（廃棄後3年）、フロン回収義務	遵守
消防法	火災報知機・消火栓・消火器等の定期点検	遵守

2023年3月時点で環境関連法規への違反はありません。

なお関係当局よりの違反等の指摘及び環境上の苦情や要請などは、過去13年間ありません。
また、訴訟についてもありません。

＜環境活動の取組結果の総括評価（代表者による全体の評価と見直し指示）＞

総括評価：目標達成については、前年度との比較では概ね良好ではあったが、生産稼働計画、工事計画等、調整が困難であったところの一部は、活動の成果が得られなかった。

代表者による全体の評価と見直し指示：環境経営方針、目標、計画、実施体制の変更の有無

- 1) 吸収合併後の方針、経営システムについての継承、継続を行う。
- 2) 大阪営業所（事務所）は目標値等の設定はできないが、活動は継続する。
- 3) 目標の基準値は見直しを行う事とする。
- 4) 工場間や利害関係先のコミュニケーションについては、Web会議等の優先を継続。

2023年7月31日

代表取締役社長 福本幸造

<連絡窓口>

当社の環境報告書に関するご意見やご質問等が御座いましたら
環境事務局 森川宛 にご連絡下さい。

<連絡先>

TEL : 0794 - 63 - 3171

FAX : 0794 - 63 - 3172

以上